

# 学校保健

THE SCHOOL HEALTH No.186

(財)日本学校保健会

豊かな心を持ち  
生涯を通して逞しく  
生きる子どもの育成  
—家庭・地域との連携を通して—  
第40回全国学校保健研究大会の標語

## 世界の情勢と学校保健



日本学校保健会 理事 榊田 桂

学校保健活動の主たる目的は、昭和22年3月に公布された教育基本法の理念実現にあると私は理解し、種々の運動を推進してまいりました。

最近、人間の一生、すなわち胎生期・幼児・児童・生徒・青壮年・高齢者にわたっての「教育の生涯化」が叫ばれております。今や、技術革新、情報化社会の到来により、進学率も高校90%以上、大学40%という上昇を示す半面、児童・生徒、青少年らの精神的混迷は登校拒否、人間関係の断絶等々を招来しています。

このような時代に私達は、憲法第25条の理念である人間性の復権、健康権の昂揚を実現しなければなりません。その布石として私は「砂漠に水の滲みるが如く、物事を理解し得る」児童・生徒にこの考え方を伝えるべきであると思います。

また私が海外小委員会にあって感じましたことは、世界各国においても種々の問題に果敢に対応していることでもあります。たとえば、アメリカ・インディアナ州ではエイズに感染した血友病の少年を支え、ヒューストンでは住民参加の健康教育に取り組んでおり、ウガンダでは食事と栄養等を考え、フィンランドでは、あらゆる種別の学校で改訂カリキュラムの中に健康教育を含めることに成功しています。

以上の情勢を見、私達は今こそ21世紀に向って学校保健の近代化、システム化をはからねばならないと信ずるものがあります。

### 目次

「海外情報ニュース」  
20号の歩み… 2  
エイズ教育の国際協力と  
諸外国のエイズ教育… 3  
タイ・マレーシアの  
保健と教育… 4  
Q & A 特殊教育教材教具  
の展示会… 5  
IUHE ヘルシンキ大会 … 6

会報をよくするため、読者のご意見を求めています。お葉書をお寄せください。



# 「海外情報ニュース」20号の歩み

国立特殊教育総合研究所 部長 詫 間 晋 平

本会の「普及指導事業」の一つのセクションとして、海外情報小委員会が設置されている。同委員会の重要な活動の一つとして、「海外情報ニュース」(REPORTS)を昭和55年度より発刊している。その記念すべき第20号が10年の歳月をのりこえて、昨年11月に刊行された。

当初は、当時の小栗一好専務理事のご示唆もあって、学校保健における一般的な海外文献の輪読、解説の勉強会のような心づもりで開始したのであるが、次第に、社会の情報化の波に乗って、そのつど重要と考えられる海外の学校保健のトピックスを中心に、紹介してゆく形式となっていった。

創刊号(1981年2月)には、当時の会長であった東俊郎先生の巻頭言をいただき、「プライマリー・ヘルス・ケア」「国連大学の活動」「国際健康教育ユニオン」などの話題を提供している。第20号は、巻頭言に現会長の村瀬敏郎先生の祝辞をいただき、「エイズ問題」「ユネスコ・アジア太平洋地域の協議会」「同地域のプライマリー・ヘルス・ケア研修」などのテーマが掲載されている。新しい問題が浮び出るとともに、他方で共通して一種、不易のトピックが残っている点が興味深いところである。

1~19号間の98件のトピックスにつけられた266語のキーワードを編集委員の一人である植松稔教授が以下の如く分析しておられるので紹介しておきたい。

## 国・国際機関別件数

キーワード延べ266語のうち、国名、地名または国際機関名等を含む87語の23%、20を米国(米国内の都市、大学、信託統治領などを含む)が占めている。カナダ、キューバおよびブラジル各1を含む全米の計は23となる。

次いで英国9、フィンランド4、オランダ3、ア

イルランド2、イタリア、スウェーデン、フランス、ブルガリア、ポーランド各1、ヨーロッパの計も全米の計と同じ23である。

アジア22語の中では中華人民共和国7、インド4、韓国、タイ、フィリピン、パキスタン、アラブ共和国各1、東南アジア医療情報センター関係が6である。

オーストラリアは3、アフリカは2であった。

国連関係4、国際健康教育ユニオンおよびWHO(世界保健機構)各3、OECD(経済開発協力機構)2などが計12を数える。

## 内容別件数

内容を示すキーワード延べ201語の40%に当たる81語が保健教育を掲げている。このうち健康教育学会および健康教育組織に関するもの26、保健の理論・カリキュラム・媒体が16、保健教育担当者15、健康行動5、特殊教育3などであった。

健康教育の背景に関するキーワードが45ある。うちわけは、医療・社会資源が16、政策・生活の質が15、地域健康水準・文化的背景が14である。

疾病・傷害の予防および栄養に関するキーワードは75あった。最も多かったのは、心身症・校内暴力・非行など広義の精神の衛生に関するもの18だった。次いで、禁煙に関するものが10、伝染病8(エイズ2を含む)。性・セクシャリティ8、慢性疾患が10(心臓病5、歯科3、がん2)、体育運動7、栄養6、青少年問題5、傷害3などである。酒・麻薬などに関しては収録されていない。

なお、これら、具体的なキーワードの一覧は、「海外情報ニュース」の№20~22号の号末に紹介されるので「あゆみ」の「史料」として活用して頂ければ幸いである。

## 虎の門(9)

### 喫煙は中毒になる

今春、某デパートに就職した高卒の女子店員の60%が高校時代からの喫煙者であったと言う。大阪癌予防検診センターの昨年の調査によると中学から高校への入学時に喫煙率は急上昇する。そして、高校3年の男子66%、女子42%が喫煙の経験をしていると言う結果が出されている。また、12月7日

に日本たばこ産業の喫煙者率調査によると、男性の60.5%、女性の14.3%が喫煙していると言う結果が出された。

ある県の管理職研修会で「アメリカには、たばこを吸う中学生はいない。なぜならば教師が吸わないからである。」と言う話がされたと言う。真偽はともかく学校現場

では、考えることが必要であろう。

カナダでは、1991年6月からたばこケースの25%のスペースに「喫煙は中毒になる」という警告をいれる。日本を含めて、先進国では「害になる」「危険である」の表現に留まっている。禁煙教育は徹底できるだろうか。

編集委員 壺井 忠雄



# エイズ教育の国際協力と諸外国のエイズ教育

千葉大学教育学部教授 武 田 敏

## (A) エイズ教育の国際協力

エイズが人類の存亡にかかる脅威を与える疾患である以上、globalな対策が行われるべきであることは自明である。有効な治療薬やワクチンが未開発である現在、予防教育が国際的規模で展開される必要がある。世界のエイズ患者は正式の報告数で既に30万人を超え、その実数は90万人と推定されている。無症状感染者は約1000万人、今世紀末には3000万人に達すると予測される。

我が国のエイズ患者は294人と比較的少ないが、交通機関の発達と人事交流の盛な今日、我が国のみ無風地帯ではあり得ない。欧米諸国と同調したエイズ教育の普及と各国間の情報交換、教育技術交流が強く求められている。各国の慣習、文化、国民性に応じたエイズ教育は勿論必要であるが、科学的予防教育と人間尊重教育の基本原則は共通している。

我が国では3年前にエイズ教育学会が発足し、文部省から4年前にエイズ教育推進の通達が行われたが、学校現場では一部の研究校に限られている。エイズ教育先進国の足跡を学び、保健教育、人権教育、性教育の統合された教育が普及して欲しいものである。

つぎにエイズ流行国からの渡航者に対し疑惑の眼を向けたり、排除差別する問題がある。エイズパニックが日本列島を走った4年前、長野県で黒人女性が銭湯に入浴を拒否される事件が起った。小、中学校でニューヨークやロスアンゼルスからの帰国児が「エイズ」呼ばわりされて、仲間はずれにされる事件も発生した。国際化の時代国際理解教育に逆行する出来事である。

この種のトラブルを回避する消極的対応ではなく、むしろこれを逆手にとって学習のテーマとし、国際理解の必要性を学ばせる積極的アプローチが望まれる。日常の対人関係、会話や握手、食器の共用等ではエイズの感染はないことを確認し、非科学的過剰防衛反応による外人排除や、文化的鎖国化とならない良識が育成されなければならない。

WHOやUNESCO等の国際組織が、エイズ問題の国際会議を欧米やアジアで開催し、足並みを揃える情報提供と各国エイズ教育実践の成果を交換する機会を与えている。

## (B) タイ国のエイズ教育事情

昨年3月私はバンコックで開かれた上記国際会議に出席し、タイ国のエイズ教育を見聞した。その時点でタイでは14,439人のエイズ患者及びキャリアーが

報告されており、重大な社会問題化していた。小学校上級からエイズ教育が開始され、主として経血液感染予防がとりあげられていた。感染者の血液→傷の感染、麻薬注射のまわし打ちによる感染の危険が教えられ、日常生活では感染しないと強調されている。

中学校以上ではSTDとしてのエイズがテーマとなり、感染予防教育に科学的予防教育と、仏教的倫理教育を併せて教えている。道徳教育といっても、日本の純潔教育とは異り、人の生き方や人生観を育成するものであった。児童、生徒を介して親のエイズ教育をする試みも行われ、エイズ知識に関するマンガのクイズを親の宿題として子供が持ち帰る。親の回答率は案外に良く、中には親の宿題を子供が記入して出す例もあると言う。どこかの国とは逆の話で苦笑した次第である。

## (C) アメリカのエイズ教育事情

2年前ロスを訪れた時、エイズ問題は既に重大化し、患者に対する支援組織活動が話題となっていた。社会教育としてはコンドーム普及のSafe Sex運動が強力に進められていた。学校教育では徹底した感染予防教育とエイズ感染児の受け入れの2つが課題であった。

前者に関して、小学校上級レベルで性行為感染としてのエイズがとりあげられ、ホモセクシャルの肛門性交まで言及している。後者について、CDCのガイドラインが提示されている。その大要は感染者も普通の学校に通学できる。

ただし、学校でのケアと指導はケース・バイ・ケース、プライバシー保護のため、感染児の氏名を知る人は校内で最小限の教師にとどめる。エイズ感染児を受け入れる結果、一般児のエイズ抗体検査を行う必要はない等である。

我が国にも報道されたインディアナ州のライアン・ホワイト君は最初の高校では登校さしとめとなったが、他校では受け入れられ、遊んでくれる友達もできたと聞いて安心した。感染者が学校に出向いて、エイズ予防教育を体験談をまじえて講演するとか、麻薬中毒から回復した者が「麻薬とエイズ」について話す等のプログラムが生まれ、実に迫力のあるエイズ教育が行われている。

エイズは不幸な病であるが、生きることの意味や人間の性について多くの事を教えてくれた」と語った米国高校教師の言葉が印象的であった。\*



# タイ・マレーシアの保健と教育

神戸大学教育学部 助教授 横尾 能 範

## 開発途上国の実状

国際協力事業団の医療協力等で、タイおよびマレーシアにおいて3ヵ月～1年間情報処理技術の移転に携わる機会をえた。

本来、わが国に呼び寄せる研修生を他国に集めて研修を行うことを、第三国研修と呼んでいる。開発途上国からわが国に呼び寄せると文化面や技術面での格差が大きすぎ、いわゆるカルチャーショックを起こすことや、一年間の滞在費を考慮すると、同じ費用で倍以上の人数を研修できる等の利点がある(バンコック・AIHD)。

マレーシアにおいてもアセアン諸国が共同で設立した研修施設に各国からの研修生を集め、3ヵ月から1年間の研修を行っている(ペナン・RECSAM)。いずれの機関にも先進諸国からの資金援助や人材派遣があるが、資金面ではわが国の援助が最も多い。

両国とも開発途上の中では先を歩んでいる国であり、それだけに都市と農村との格差の大きいことが特徴であろう。都市部では外国資本の流入に伴い、経済面や文化面で諸外国との差が目だちにくいのが、地方へ足をのぼすと大きな相違に出会う。一例では、ある農産物を100km離れた農村からバンコックに運ぶだけで価格が5倍になるものがある。

労働者の月収にしても、同じ職種で3倍異なることもまれではない。このように、その国の都市部を訪れただけでは見えない部分の多いのが開発途上国の実状であろう。

## ボランティアが活躍するタイ

タイの、特に農村における保健教育の主題はプライマリヘルスケアの向上である。その内容は家族計画、風土病や伝染病の予防、栄養改善などが目立ち、エイズ予防と家族計画のポスターには行く先々で出会った。子どもの栄養改善などは学校教育を通じても行われるが、次の世代まで待てない内容については、成人教育として精力的に実施されている。

それは行政区毎に、中心となる病院を頂点とし、その下に地方病院、保健所、その出張所とピラミッドの裾野を広げた組織がある。保健所や出張所の保健婦の下には、ヘルスボランティアやヘルスコミュニケーターと呼ばれる民間人が誇りを持って活躍し、

実効をあげている。

民間人の彼らは一人で10世帯ほどを受け持ち、一言でいえば生活改善技術を伝えている。改良便所や飲料水浄化器の作り方を実地指導し、家族計画の方法を教えたり、また病人と医療機関との橋渡しや、一種の保険であるヘルスカードの普及などを奉仕活動として行っている。時には薬草の栽培を行い、それを仏教寺院に奉納したりする。

行政機関や地方病院は保健所の職員やボランティア・学校の教員等を呼び寄せて、定期的な研修をするという形での教育活動が行われている。

コミュニケーターとは難しいことを平易な言葉に直したり、文字で書かれた内容を言葉にして伝え、またその逆をする役である。識字率78%と統計では言われるが、まだこのような人々を必要とし、人々の善意で処理されているのがタイ農村の実態である。

## 新旧の差はげしいマレーシア

マレーシアでは、時にわが国より進んだ公衆衛生思想に驚いたこともあった。ハイキングなどで谷間の浄水場に出くわすと、そこは嚴重な金網の囲いがされ、「立ち入った者は射殺されても止むなし」の立て札に肝を冷やした。また、自宅の排水溝の管理を怠って汚水を溜め、ある種のボウフラを発生させると1000ドルという高額な罰金が課せられ、支払能力がなければ刑務所行きである。このようにきびしい規則はイギリス植民地時代のなごりなのか、利害の異なる多民族で形成された国家のせいなのか知りたいところである。

この地でも急速な近代化が進んでいる一方、伝統的な生活様式が併行してある。海水や土壌の汚染の影響や、化学物質乱用の影響をもろに受ける人々が現れることを恐れるが、その対策はほとんど打たれていない。

マレーシアの学校保健は厚生省の活動が学校の間で行われているという感が強く、歯科治療、結核検診、コレラ予防などが力を入れて行われていた。また、貧困児童への栄養補給と食習慣改善を目的に学校給食が行われている地域もあり、眼鏡を必要とする貧困家庭の児童には政府が経済的な援助するなど、制度としてすすんでいる面もみられた。



# Q & A - 学校保健活性化のために

**Q** 第16回特殊教育教材教具の展示会が今年2月に開催されると聞いています。今までのうちで心に残る作品の具体例を教えてください。

**A** .....(財)心身障害児教育財団第8研究部長 詫間 晋平

標記の教材教具展示会は昭和51年より開始され、本年度で第16回を迎えるが、年々盛況となり今回も165点を数え、目下、最終審査の段階にある。平成3年の2月中旬には、展示会と受賞者の表彰式が、国立特殊教育総合研究所の3階大会議室で実施される予定となっている。

毎回、大賞や金賞に入賞した作品は、会場に入るなり、はっと目を見張らせるものがある。同時に、細工も流々である。

また、何より大切なのは障害児のよりよい教育指導を願って、きびしい条件下で、心をこめた作品である点が共通している。正に「必要は発明の母」であり、悪条件下の「分校」の教師の力作が大賞に輝くケースも少なくない。

第14回(昭和63年12月)の大賞「おみせやさんグッズーケーキー」もその一例で受賞者は石川県立明和養護学校松任分校の小杉裕子教諭であった。

平成元年度(第15回)の「大賞」を受けた作品は、石川県立錦城養護学校の山元加津子教諭の手になる『絵本「なかよし・どうぶつ組のりんごはいくつ」「海」他』と題する一連の力作である。主なる対象児は、精神薄弱児や情緒障害児であるが、触察によって弱視児にも活用できる「絵本」である。一口に「絵本」といっても、単なる紙の絵本ではなく素材も丈夫な布製のものもあり、それに穴をあけたり、ボタンをつけたり、小型の人形を縫いつけたり、各種の工夫をつけ加えた構造化された「絵本」といえよう。例えば、頁にあけた窓から「りんご」がのぞくことに、指の数も変えることのできる手のひらが、対応する頁につけてあるなど子どもならずとも、ついつい面白さにひかれて無意識の内に学習が進んでしまう。特に、布製のブックは耐用性もあり、何回でも繰り返して利用できる。また、各種の絵本の絵も極めて上手に描かれており、その配色も障害児に興味をいだかせるように細かい配慮がなされている。

いかにも、子ども本位で、かつ子どものためを思って作られた「絵本」といえる。

もちろん、この作品も一回の試行で出来上がったのではなく、校内での同僚からの、時には手きびしい批評や、建設的な改良のための意見、アイディアの積み重ねによって、より立派な作品に成長していったものである。なかでも、失敗に挫折しそうになった気持ちを暖かく激励し、支えとなって下さった同校の校長先生の御助力も見逃せない。

なお、作品の評価の基準の概要と、賞金に関して付記すれば次の如くである。

評価の基準は大きくわけて次の4つである。即ち、○何のための教材かの明確性と使用効果、○教材としての独創性があるか、○長く使用でき丈夫であるか、○使用に当たってどれだけ便利であるか、の観点である。

この他、筆者の考えでは、各委員の立場から、それぞれ独自の評価の観点が多少とも加味されるのではないと思われる。例えば「かたち」「からくり」「色彩」「素材の活用」「仕上げのきめの細かさ」「安全性」などである。

例年の作品についていえることであるが、前述の如く、「仕上げのきめの細かさ」が優れている作品は、不思議に他の形態・機能などの要件も合せて優秀である場合が多い。

これらの基準や観点などによる評価の結果、大賞1点(賞金20万円)、金賞3点(各15万円)、銀賞5点(各7万円)、銅賞7点(各5万円)、佳作20点(各1万円)の入賞者あるいは入選者が決定された。銅賞以上の受賞者16名は、平成元年12月15日に研究所会議室での表彰式において、それぞれ賞状と賞金が授与された。なお、賞金は本展示会の後援となっている(財)日本児童教育振興財団の御好意によるものである。



# 第14回世界健康教育連盟(IUHE)ヘルシンキ大会

相模女子大学教授 植 松 稔

上記大会が1991年6月ヘルシンキで行われる。参加申込期限は1991年4月1日である。

## 1. 日程および議題

- 6月16日(火) 総会および開会式
- 〃 17日(水) 世界保健の展望
- 〃 18日(木) 過渡期のライフスタイル
- 〃 19日(金) 健康教育の成功例と世界の傾向
- 〃 20日(土) 健康増進と社会政策
- 〃 21日(日) 健康教育と民間伝承

## 2. 参加費

IUHE 会員は1,960FIM、会員以外は2,250FIM。前納すれば10%割引(4 FIM=約1米弗)

## 3. 分科会の主題

- (1) 理化学的環境
  - ① 健康教育による環境危害の減少
  - ② 危機と健康増進
  - ③ 煙草の煙のない環境の推進
- (2) 心理・社会的環境
  - ① 精神的健康の増進
  - ② 文化要因と健康教育の効果
  - ③ 社会支援と社会連携網
- (3) ライフスタイル
  - ① 健康行動の傾向
  - ② 健康関連運動の推進
  - ③ 性行動と健康教育
- (4) 疾病と健康上の問題
  - ① 事故防止教育
  - ② 健康教育と自殺
  - ③ エイズ、その他、性行為感染症の予防
  - ④ 口腔健康教育
  - ⑤ 感染症予防と健康教育
- (5) 社会教育

- ① 予防と健康教育に対する国の政策と計画
- ② 栄養政策と健康教育
- ③ 煙草広告禁止に対する賛否
- ④ 抗薬物計画と政策
- (6) 健康教育における新課題
  - ① 健康増進と生活の質
  - ② アルコール、麻薬、覚せい剤対策教育

## 4. 見 学

- (1) Vuoranta アルコール研修センター
- (2) フィンランド心臓協会(心臓と食事)
- (3) 性政策協会(エロチズムと健康)
- (4) 麻薬、覚せい剤中毒診療財団(健康教育と濫用者治療)
- (5) フィンランド結核予防会 Kiipula 財団
- (6) フィンランド赤十字(赤十字と健康増進)
- (7) フィンランド、リウマチ協会(サウナ湖水泳)
- (8) Martha 機構(苺、茸および野菜、健康)
- (9) 防疫組合(健康と衛生、サウナ、水泳)
- (10) ETRA協会(ホペアニエミ治療リハビリテーションセンター訪問、サウナ、水泳)

## 5. フィンランドおよびスカンジナビアにおける関連学会

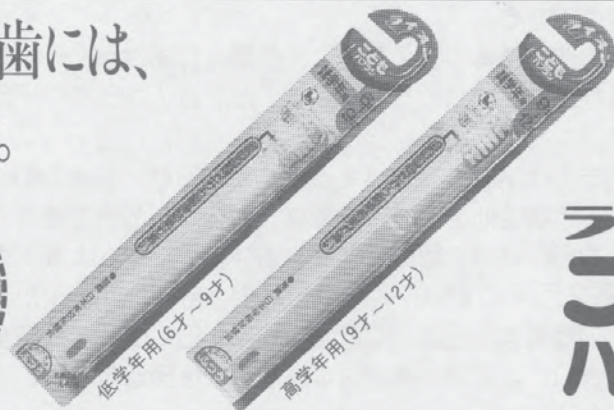
- (1) 国立公衆衛生研究所、6月11日~15日、ヘルシンキおよびヨエンスー
- (2) 健康増進UKK研究所(フィンランドにおける健康教育の研究と実際) 6月13日~15日、タンペル
- (3) フィンランド学生保健事業およびフィンランド学校医協会(学校保健医療ヨーロッパ連盟会議) 6月13日~15日、トゥルク)

その他、ドイツ、ソ連など、ヨーロッパ諸国の保健機関の公開と見学とがある。

「スキ間」の多いこどもの歯には、  
段差植毛のハブラシを。



●推薦 日本学校保健会



ライオンの  
ハブラシ製品  
ライオン株式会社

ライオン  
こども  
ハブラシ



## 日本学校保健会だより

## 平成2年度 学校保健センター的事業報告会

平成2年度の学校保健センター的事業は、普及指導、調査研究、健康増進の三事業において、22の委員会を構成し、延べ234名の委員と27都道府県学校保健会に研究を委託し、それぞれ熱心な活動が推進された。この成果は例年のように、下記の子定で報告される。

## 平成2年度

## 学校保健センター的事業報告会要項(概要)

日時 平成3年3月8日(金) 10:00~16:00

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター  
(東京都渋谷区代々木神園3-1)

対象者 都道府県・指定都市学校保健会から推薦された方

趣旨 学校保健センター的事業の成果を報告し、協議を重ねて学校保健の充実に資する。

## 全体会(10:00~12:00)

- ・開 会
- ・あいさつ

財団法人 日本学校保健会 会長 村瀬 敏郎  
文部省体育局学校健康教育課課長 富岡 賢治

- (1) 平成2年度学校保健センター的事業及び各委員会活動の概要報告

企画運営委員長 和久井健三

- (2) 学校環境衛生指導委員会報告

委員長 国崎 弘

- (3) 難聴に関する指導資料作成委員会報告

委員長 田中 美郷

- (4) 養護教諭研修研究委員会報告

委員長 江口 篤寿

- (5) 分科会発表の概要

- ① B型肝炎等の保健管理手引書作成委員会

委員長 西岡久壽弥

- ② エイズ問題を含む性に関する指導推進委員会

委員長 平山 宗宏

## 分科会(13:00~16:00)

- (1) B型肝炎等の保健管理手引書作成委員会

- (2) エイズ問題を含む性に関する指導推進委員会

・閉 会(各分科会ごとに解散)

## 第29回全日本よい歯の学校表彰校

第29回全日本よい歯の学校表彰は、全国より87校の応募が有り審査の結果、平成2年10月17日、第54回全国学校歯科保健研究大会にて、最優秀6校に対し、文部大臣賞と副賞、優秀校には日本歯科医師会より特別賞が授与された。

最優秀校 群馬県 高崎市立西小学校

神奈川県 相模原市立くぬぎ台小学校

長野県 岡谷市立長地小学校

富山県 高岡市立成美小学校

兵庫県 神戸市立北須磨小学校

島根県 浜田市立原井小学校

優秀校 山形県 長井市立平野小学校

千葉県 千葉市立幕張東小学校

東京都 港区立赤坂小学校

京都府 京都市立太秦小学校

岡山県 総社市立総社西小学校

広島県 高田郡向原町立向原小学校

## 読者からのお便り

第182号の「虎の門」の記事「日内リズム」について質問をいただいた。早速返事を差上げたところ、折返し下記のお便りが届いたのでご紹介する。

日増しに秋の色が濃くなってまいりました。(中略)さて、児童・生徒の心の健康がさげばれて久しくなりますが、本校でも先日、生徒の心の健康のようすを知るために「心の健康アンケート」を実施し、目下、集計におおわらわです。

本校は県の北部に位置した農山村にある学校で、全校生徒460名の中小規模校です。アンケートをとってみると「学校で楽しく過ごしていますか」の間に、全く楽しくない3.9%。「家で楽しく過ごしていますか」に、全く楽しくない5.5%。

「何のために生きているか」わからない21.6%。「死んでしまいたいと思う」よくある3.4%。少しある31.5%。「学校へ行きたくない」よくある33.9%、といった具合です。

少しずつ結果がわかってくるにつれ、ある程度予想はしていたものの、実際に数値が上ってくると、これまでとはまた違った緊張感がでてきます。

微力ではありますが、養護教諭としてこれらの生徒たちに、どのようにかかわっていけるのか、模索していきたいと考えています。かしこ

鹿児島県薩摩郡宮之城町虎居

県立宮之城農業高校

別府真理子

編集委員会では先生方の参考となるようなお便りは、ご紹介していきたい、と考えている。



育ちざかりのひと粒!

歯・骨を丈夫に……



ゼリー状ドロップ剤

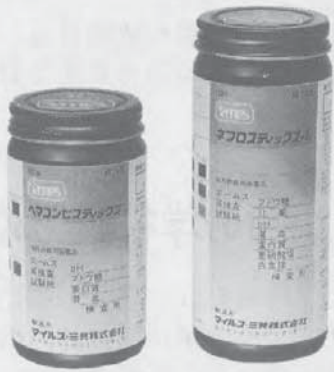
# カワイイ肝油ドロップ



河合製薬株式会社

東京都中野区新井2丁目51番8号

発行 毎日日本学校保健会 村瀬 敏郎 〒105 東京都港区虎ノ門2-3-13 第18森ビル 電話(3501)3785・0968 振替口座 東京4-98761 頒価1部100円(送料共)



学童の集団検診にお選びください。

エームスは新しい尿で健康もみつかる



尿中白血球反応をプラスしたエームスの尿検査試験紙

エームス尿検査試験紙尿中pH・ブドウ糖・蛋白質・潜血検査用

## ヘマコンビスティックス®

体外診断用医薬品

エームス尿検査試験紙尿中pH・ブドウ糖・比重量・pH・潜血・蛋白質・亜硝酸塩・白血球検査用

## ネフロスティックス-L®

体外診断用医薬品

マイルス・三共株式会社

東京都中央区銀座1丁目9番7号

販売元:

三共株式会社

東京都中央区銀座2丁目7番12号 〒104 ☎(03)3562-0411

お問い合わせコーナー

☎0120-123119

製品に関するお問い合わせはマイルス・三共お問い合わせコーナーへ(有休無料)平日9:00-17:00

JU1390-S

プール用殺菌・消毒剤

# ネオクロール

## 四国化成工業株式会社

東京本社 大阪支社 福岡営業所 名古屋営業所 徳島第2工場  
0472(96)8181 06(251)4111 092(431)4111 052(211)4111 0886(98)4111



へ本会報は、拠出金と、本会への(財)日本船舶振興会助成金により作成しました

小学校 喫煙防止に関する保健指導の手引 (財)日本学校保健会 編 ★A5・96頁・定価850円(千210)

たばこ健康について、肺の比較写真等ビジュアルな資料を豊富に用いて具体的に紹介。喫煙習慣の予防に主眼を置いた手引書。

中学校 喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する保健指導の手引

(財)日本学校保健会 編 ★A5・110頁・定価927円(千210)

中学生を対象に、たばこ・アルコール・薬物の健康への害を理解させ、それらの習慣化を防ぐことを目的とした中学校教師向け手引書。

高等学校 喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する保健指導の手引

(財)日本学校保健会 編 ★A5・152頁・定価1,133円(千210)

喫煙等の行為を非行=補導の対象としてとらえるよりも、健康への害を理解させ、他人の健康をも配慮する健康教育面からの手引書。



第一法規 〒107 東京都港区南青山2-11-17 ☎(03)3404-2251/Fax.(03)3479-1747

## 手を洗うと、殺菌・消毒も同時にできる!

# シャボネット®石鹸液

多人数でお使いになるときは、連結式手洗い装置をご利用ください。

日本学校保健会 推せん品

サラヤ株式会社 ☎(06)797-2525

東京サラヤ株式会社 ☎(03)3472-1521